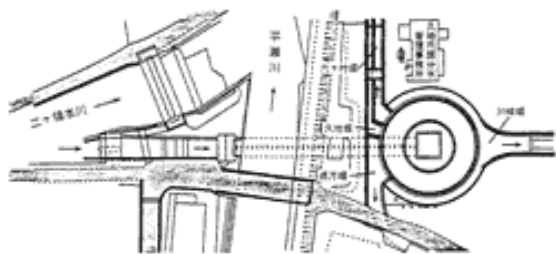


二ヶ領用水

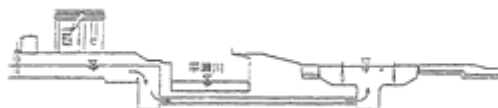
えんとうぶんすい

円筒分水

図書館で
調べてみませんか!



二ヶ領用水久地円筒分水平面図



二ヶ領用水久地円筒分水断面図



(久地円筒分水：高津区)

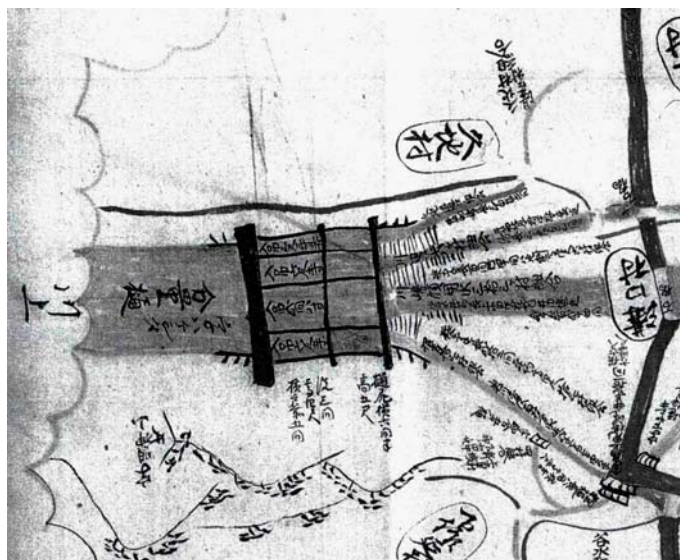
【円筒分水とは】 二ヶ領用水久地円筒分水・・・所在地：高津区久地1丁目34番地

円筒分水ができる以前、二ヶ領用水は、分量樋を設け、田畑の面積に合わせての四つの流れに分けていました。しかし、この方法では水深や水の流れの速さが一定ではないので水量の多い堀や少ない堀がでてしまうという欠点があり、水争いもおきました。

土木技師・平賀栄治は、たびたび洪水を引き起こしていた平瀬川を二ヶ領用水と分離し、多摩川に直接放流する治水方針を立てます。平瀬川と二ヶ領用水との交差点にはそれまでの分量樋に替え新たな分水装置として円筒分水を昭和16(1941)年に設置しました。戦後日本を占領した米軍も視察に訪れ、高く評価していたとの事です。平成10(1998)年には川崎市で初めての国の登録有形文化財に指定されました。

★調べるための道しるべ★ ～パスファインダーとは～

あるトピックを調べるために役立つ資料を、分かりやすく紹介したもの(パスファインダー)を図書館では作成しています。このほか探せない本や、わからないことがありましたら、お気軽に川崎市立図書館登録・相談カウンターまでおたずねください。



「稲毛川二ヶ領用水絵図下流部」の一部 『川崎市史 資料編2 近世』 付録

(資料についての問合せ) Tel: 044-722-4932



読書のまちかわさき

川崎市立図書館

ホームページ <http://www.library.city.kawasaki.jp/>

★この資料は、二ヶ領用水竣工400年記念事業実行委員会の皆様にご協力いただき作成いたしました。上記タイトルにあるロゴマークについても、同委員会が作成したことになります。



(久地円筒分水)

■久地円筒分水について

◆『久地円筒分水 設計図 [複製版]』(出版者不明/発行年不明)

活字資料ではありませんが円筒分水の基本資料となるものです。この図面には名称や日時、製図者等の記入はありませんが、作成期日は昭和15年末～昭和16年初め、中原区今井にあった多摩川右岸農業水利改良事務所で作成されたと推定されます。上流部や平瀬川はその後だいぶ改修されていますが円筒分水本体は現在でもこの図面とほとんど変わりがないようです。図面の縮尺は1/100です。

◆『二ヶ領用水久地円筒分水一国登録有形文化財(建造物)』

(川崎市建設局土木建設部河川課/編 川崎市 刊行年不明)

川崎市建設局(現建設緑政局)作成の川崎市公式パンフレット。A4版4ページ。位置、平面・断面図、構造、歴史など基本的事項を簡潔にまとめて掲載しています。また同一の内容が川崎市建設緑政局のホームページにも掲載されており、気軽にみることができます。

◆『川崎市文化財調査集録 第35集(1999)』

(川崎市教育委員会社会教育課/編 川崎市教育委員会 2000年刊)

川崎市の指定文化財である円筒分水構造の説明、さらに二ヶ領用水の水争いから始まり円筒分水建設までの歴史が簡単にまとめられています。円筒分水の説明と写真、地図あり。

◆『二ヶ領用水と円筒分水 時のランドスケープ展 報告書 Vol. 2』

(川崎のまち資源を考える会/編 川崎のまち資源を考える会 2005年刊)

平成16(2004)年9月に大山街道ふるさと館で開催した「二ヶ領用水と円筒分水 時のランドスケープ展」の報告書。二ヶ領用水の歴史の変遷を調査・研究しながら二ヶ領用水と円筒分水を地域の歴史的・文化的資源として紹介しています。

◆『かわさき文化財読本』

(川崎市教育委員会社会教育部文化課/編 川崎市教育委員会 1991年刊)

二ヶ領用水、水争い、そして円筒分水が造られるまでの様子と円筒分水の仕組みが2ページにわたり簡潔にかかれています。

◆『神奈川の算数ものがたり』

(「神奈川の算数ものがたり」編集委員会/編 日本標準 1982年刊)

久地の分量樋、円筒分水について、水の流れる量と田畑の広さの関係を算数の比を使って、やさしく説明。子どもにもわかりやすく、解説されています。

円筒分水のしくみ

この分水装置は二ヶ領本川の流れを平瀬川の下を二本の導水管で潜らせて対岸で水流を垂直に上昇、四方に溢れる水を円形の堰で受け止めます。この円周の堰を四つの堀のそれぞれの灌漑面積に比例して分けて接続するというもので、水流・流速が一定に保たれるので円周に比例した水量が誰にでも一目でわかる仕組みとなっています。市民ミュージアムに模型があり、見ることができます。

■各地の円筒分水について

◆『分水工と産業遺産—久地円筒分水を巡って—』

(斎藤 和美／著 発行不明 2006年刊)

久地円筒分水を中心に円筒分水の仕組みや歴史について作成したリーフレット。円筒分水とはどのようなものかがわかりやすく解説されています。A4版・5ページで、全国の円筒分水リスト付。

◆『第1回全国円筒分水サミット 開催報告ブックレット』

(第1回全国円筒分水サミット実行委員会／編 高津区役所／発行 2011年刊)

平成23年1月に開催された円筒分水のサミットの記録集。円筒分水のことについて、わかりやすく、コンパクトに解説されています。全国の円筒分水が写真や解説などで楽しめるほか、シンポジウムの様子が収録されている。

コラム：水をめぐって

多摩川の水の恵みは川崎側だけでなく、東京側にとってもかけがえのないものです。近代化により増加した水需要を賄うため、東京側は多摩川上流にダムをつくり水を供給しようという計画を立てましたが、猛反対したのが川崎側の人々です。上流で大量に取水されてしまうと二ヶ領用水の取水が大幅に減ってしまうからです。神奈川県側と東京側で交渉の結果、二ヶ領用水の改良工事資金の一部として補償金を支払う事で妥結し、神奈川県は多摩川右岸農業水利改良事務所を現在の中原区今井に設置、工事をすすめていく事になります。その過程で円筒分水が誕生しました。

この工事の背景には農業用水の改良による食糧増産のほか、洪水を防止することによって、当時川崎に続々と誕生していた軍需工場の用地を確保するという目的もあったものと思われます。

戦後の食糧難の時代は、食糧確保のための命の水としての役割をはたしていきます。

終戦後に東京で渇水が発生し進駐軍の兵士が銃をむけて二ヶ領用水の取水を制限をするよう命令するという事件が発生すると、駆け付けた平賀栄治は、「撃つなら撃て、私の背後には二千ヘクタールの農民がいる」と立ちはだかったという話も伝わっています。

■設計者・平賀栄治について

◆『水恩の人—多摩川治水と平賀栄治—』

(小林 孝雄／著 出版文化社 2000年刊)

川崎市在住の郷土史家・小林孝雄さんが治水に人生を捧げた土木技師・平賀栄治の業績を平賀家に残る資料等を駆使し書き上げた労作です。平賀栄治を知るには最適の資料です。

◆『わが郷土神奈川—その風土と歴史—』

(鎌倉歴史教育研究会／編 公孫樹舎 2004年刊)

円筒分水の設計建設や平瀬川・多摩川の治水工事などに多大な業績を残した平賀栄治の生涯を簡潔にまとめ、紹介しています。(平賀栄治略伝 163-165 ページ)

■水騒動について

◆『溝ノ口村用水騒動録』(石井 光太郎／編 横浜市立大学経済研究所 1956年刊)

文政4(1821)年の水騒動について、関連すると思われる古文書の記録を資料として集め、転写(活字化)して1冊にまとめたものです。記録に直接触れたい場合に最適です。

◆『川崎の歴史』(川崎市市民ミュージアム／編 川崎市市民ミュージアム 1988年刊)

文政4(1821)年の水騒動について、どのような背景があったのか、またその前後に周辺の村々においてどのようなことが発生していたのか、古文書から読み解いています。

◆『やさしい川崎の歴史』(小塚 光治／編 川崎歴史研究会 1970年刊)(pp. 148-149)

文政4(1821)年、日照りのため水不足が生じ、久地分量樋の取水に対する水争いが起こりました。この経緯について、簡潔にまとめられています。

新聞記事・インターネット

新聞記事やインターネットでは最新の情報がわかります。

◆『新聞雑誌記事索引』(川崎市議会事務局／編・発行)

川崎市に関わる新聞記事について調べられます。詳しくは登録・相談カウンターへ。

図書館ホームページで円筒分水の本を探す

図書館ホームページ・蔵書検索画面で本を探すときは、「書名」および「件名」に次のキーワードを入れて検索してみてください。

「書名」＝「円筒分水」

「件名」＝「円筒分水」または「平賀栄治」

円筒分水を紹介したホームページ

●かわさきの文化財(川崎市教育委員会)

ホーム>市内文化財案内>文化財さんぽ>高津区>「⑩円筒分水」

<http://www.city.kawasaki.jp/88/88bunka/home/top/ptop1.htm>

●高津区役所ホームページ

ホーム>高津区の魅力発見>高津区を歩こう>円筒分水と久地不動尊コース

<http://www.city.kawasaki.jp/67/67soumu/home/takatu/kanko/walk/entoubunsui.html>

●国土交通省関東地方整備局京浜河川事務所

ホーム>多摩川>知りたい>歴史・多摩川の名脇役>8. 二ヶ領用水円筒分水

<http://www.ktr.mlit.go.jp/keihin/tama/know/property/08.htm>

●農林水産省「二ヶ領用水久地円筒分水」

ホーム>農村振興>水土里電子博物館>水土里の文化遺産

http://www.maff.go.jp/j/nousin/sekkei/museum/m_bunka/yuukei3/index.html



■発行：川崎市立図書館 2011年2月

川崎市教育委員会 川崎市立中原図書館 TEL：044-722-4932